

20 世紀最大の巨匠として名声を博したベルナール・ビュッフェは、1948 年若く 19 歳で画家の登竜門と言われる批評家賞を受賞し、画壇寵児として世界を席卷していきました。

折しも時代は抽象絵画が全盛期を迎えていた頃のことです。具象絵画の衰退を懸念していた当画廊の創業者爲永は、具象絵画の騎手として登場したこの画家の影響にいち早く注目し、1960 年代より東洋の独占販売権のもと、日本に幾多の作品をご紹介してまいりました。そして半世紀を経た現在、画家の存在感は更に高まりより多くの人々を魅了しております。

今展では、初期の作品から最晩年の作品まで 40 余点の展観と致します。どうぞご高覧下さいますようお願い申し上げます。